



学校だより

自分たちの学校は自分たちでつくる

校長 柿崎 順子

前期終了に際し、生徒の皆さんに回答してもらったアンケート結果の一部を紹介します。

4月から「秋葉中学校に関わるすべての人が『秋葉中学校っていい学校だよな』』と言いあえる学校をみんなで作っていきましょう。」と伝えてきました。あなたからみて、どうですか？

という設問には、約9割の生徒が肯定的な回答でした。なぜそう答えたかの理由を読むと、「秋葉中学校はいい学校」と感じている理由は人間関係の良さ、挨拶の定着、行事の盛り上がり、協力の姿勢などにあるようです。

一方で、授業の雰囲気や一部の行動、挨拶の温度差などに課題を感じている声もあり、「みんながそう思える学校」にはまだ伸びしろがあるという認識も見られました。

また、皆さんが考える「いい学校」のイメージも聞いてみました。その答えを整理してみると、みんなが思い描く「いい学校」には、こんな共通点がありました。

- **仲が良く、思いやりがある学校**
学年や立場をこえて、誰とでも仲良くできる。困っている人がいたら自然に助け合える。そんな温かい関係がある学校。
- **挨拶と笑顔があふれる学校**
すれ違うときに気持ちよく挨拶ができる。笑顔が絶えず、明るい雰囲気に包まれている学校。
- **いじめや陰口がなく、安心して過ごせる学校**
誰もが安心して登校できる。嫌な思いをすることなく、毎日を穏やかに過ごせる学校。
- **メリハリがあり、楽しく学べる学校**
授業中は集中して学び、休み時間や行事では全力で楽しむ。そんな切り替えができる学校。
- **一人ひとりの個性が尊重される学校**
自分らしくいられる場所がある。意見が大切にされ、みんなが「ここにいていい」と思える学校。

「いい学校」は、誰かがつくってくれるものではありません。一人ひとりの行動や気持ちによってつくられていくものです。友達を思いやる、挨拶をする、授業に集中する・・・そうした日々の積み重ねが、学校の雰囲気をつくります。

「秋葉祭」という大きな行事を通して、みんなが思い描く「いい学校」に近づけたのではないかと思います。日々の学校生活において、実現できることもたくさんあると思います。

アンケートの「そのために自分ができることは何ですか」という設問には、自分にできることをしっかり考えて書かれていて、とても頼もしく感じました。

「いじめをなくす」という点については、前期から各クラスで取り組むことを考え、実践してきています。11月の地区懇談会では、それぞれの取組をビデオで紹介し、地域の方々からのご意見もいただいて、秋葉中学校としての「いじめ基本方針」に反映させていく予定です。

生徒、教職員、家庭、地域それぞれにできることを考えて、考えを共有し、高め合っていくことで、いまよりもさらによい秋葉中学校をつくっていけるといいなと思っています。

